

佐藤智孝&玉さや佳
チエ口とピアノの対話 vol.4
～表情豊かな旋律に出会う

毎回のことですが、コンサート当日に雨予報が出ていると、普段は全く縁のない祈りというものを天に捧げます。今回も週間予報の雨マークを消してください、と祈り続けました。結果は曇りでした。俄か祈りも聞き届けてくださる天に感謝の念でいっぱいになりました。少し肌寒くはありましたが、ひざ掛けでしのげる程度でした。

熊本地震犠牲者への鎮魂

コンサート開催日が2016年4月14日に発生した熊本地震から2年目にあたる日となりました。災いは忘れたところにやってくる」と寺田虎彦さんはおっしゃいましたが、昨今は忘れないうちにやってきます。どこに住んでいても、災害に直面されている方々を忘れないでいたいものです。出演者お二人と相談してプログラムにある『ぞら』を追悼演奏として捧げました。



夢空間 La Musica (ゆめくわかんラムシカ)とは

夢空間ラ・ムシカは身近なところで生の音楽を聴く機会をたくさん作りたい。サロンコンサートの雰囲気味わえる空間を提供したい。聴くだけに留まらず、これから羽ばたこうとしている若い音楽家や経験豊かな円熟した音楽家との交流も楽しめるコンサートを実現したい。これらの思いを形にしたのが夢空間ラ・ムシカです。音楽を通して、人と人が響かぬ空間を提供し続けたいと考えております。

24 の前奏曲作品 28 ショパン 即興演奏

ショパンと言えばピアノ曲を思い浮かぶ方が多いのではありませんか。ピアノを歌わせる天才との声も聞かれる作曲家です。

この作品のほとんどは短い曲で構成されていますが、平均律のすべりの長調、短調を使った組曲「玉さや佳さんのお話」です。

透明感あふれる水彩画のような作品、陰影に富んだ作品、重厚な音の重なりが押し寄せてくる作品など様々な表情をまとった曲が次々と現れました。

第7曲はショパンの前奏曲というよりも、胃腸薬のCM曲としてよく知られているかもしれません。

また、第15曲「雨だれ」は代表曲として知られています。ピアノ曲の展覧会といえる作品でした。全曲を一度に聴く機会に出会うことはなかなかないと思います。

ピアノスト児玉さや佳さんのピアノ愛、ショパンへの憧憬が伝わってきました。お客様の感想、涙があふれた」にうなづきました。

即興演奏

児玉さや佳さんの演奏会プログラムには必ず組み込まれる即興演奏です。

一般的にコンサートといえば、バッハ、モーツァルト、ベートーベンなど、作曲家が楽譜として書き残した作品を再現した演奏を聴くことを思い浮かべます。即興演奏はその場でイメージ、言葉、風景などのお題をお客様から頂戴し、即興でお題を音楽にします。

児玉さんがピアノに向かい、じつとつむいている姿に目と耳が集中する10秒ほどの時間はこれから始まる即興演奏への興味と期待で空気が心地よく張り詰めます。

今回の出されたお題は「多摩御陵」春の嵐」の二つでした。



そら 平田聖子

（悲しみに寄り添って）

2011年の東日本大震災で、被災地のみなさんの大きな悲しみにふれたとき、作曲家平田聖子さんが作曲されたのが歌曲「あなたと私」、器楽曲「そら」です。伸びやかなメロディーの中に被災地に住む方々一人一人の顔と心、寄り添う方々の顔と心、犠牲となった人々の証が刻まれています。



佐藤智孝さんの出身地、目の前が海の仙台市若林区荒浜は2011年3月11日津波にすべて飲み込まれました。現在、居住禁止区域に指定されています。今、その禁止区域ギリギリの場所に住み、復興を目指し、活動している仲間がいることを日本中の人に知らせたい、震災のことを忘れないでほしい、できることは何かを考えている人は、機会があれば現地に行って被災地の今を見て、感じてほしいと話されました。知人の生死を確認するのも憚られる気持ちだが何年も続いたそうです。始めに鎮魂の思いを込めて演奏された『そら』が2回目の演奏では佐藤智孝さんの言葉を纏って、より深く浸透してきました。



チェロソナタ第3番イ長調作品69 L.V. ベートーベン

怖い顔をしたイメージを持たれるベートーベンですが、師匠、ハイドゥン先生に教わったことは何もない」と言い放ってしまうやんちゃな面もあった「そうです 佐藤智孝さん」。夢空間ラ・ムシカコンサートでは音楽だけではなく、音楽家の皆さんの声を聞く時間もあります。佐藤智孝さん話しぶりは素朴で、率直で、ユーモアもあり、聴く人の固定観念を優しく揺さぶります。演奏同様楽しみな時間です。今回は内容が少し違いました。この曲を選択した理由をお話されました。

「佐藤智孝さんのお話」

昨年の事故後1か月間は右手はモノを握ることができなかつた。その期間に自分がやり残したことは何かを真剣に考えた。ベートーベンのチェロソナタの中で人前では一度も演奏したことのない5番、食わず嫌いのフランスものドヴィッシーのチェロソナタなど今ま

で手を付けてこなかった曲に取り組むべきかなど考えに考え抜いた。

その結果、やっぱり好きな曲を演奏しようというところにたどり着いた。それが今日のチェロソナタ第3番。このソナタは有名なので、出だしを聴くと誰でもああと思うはず。チェロが無伴奏で奏でる旋律にピアノが続く美しい出だしから引き込まれました。



仙台市若葉区荒浜地区のこと

多くの人に来てほしいと活動している人たちがいます。来てよかったと話すひとたちがいます。

ホームページ Timbe.org/

海辺の図書館

（荒浜フューチャーセンター）

*フェイスブックページもあります



お客様の声】抜粋

ピアノの児玉さや佳さんすばらしい。このような小ホールでの体験は初めてでしたので... 指の動き、メロディに、力強さと優しさ心にじゅんときました。佐藤さん、児玉さんお二人の真剣で心こもった演奏に引き込まれました。感動しました。昨年、残念な思いをした分、存分に楽しみました。

ピアノの児玉さんさらに磨きがかかり、圧巻でした。チェリストの佐藤さん、大事故に遭っての演奏、すごかったです。

今後の予定

- 5月2日（土）8時開演 17時半開場
桂右團治落語会
会場：ヴィ・マエストロ
 - 6月9日（土）4時半開演 4時開場
ワンダフルなジャズの玉手箱
会場：ロゴス教会
 - 9月8日（土）18時開演 17時半開場
ラグジュアリー・ジャズ・ナイト
会場：ヴィ・マエストロ
 - 9月22日（土）14時半開演 14時開場
アルフォーコ・イン・ロゴス
会場：ロゴス教会
- 詳細はHP等で順次ご案内いたします。

発行者

夢空間

岡部眞由

電話：090-91-093-92888

E-MAIL: info@yumekukan.net

ホームページ

http://www.yumekukan.net/

